

日本最大の学術電子ジャーナル アーカイブの実現

—大学図書館と連携して610万論文に—

国立情報学研究所
平成18年6月2日

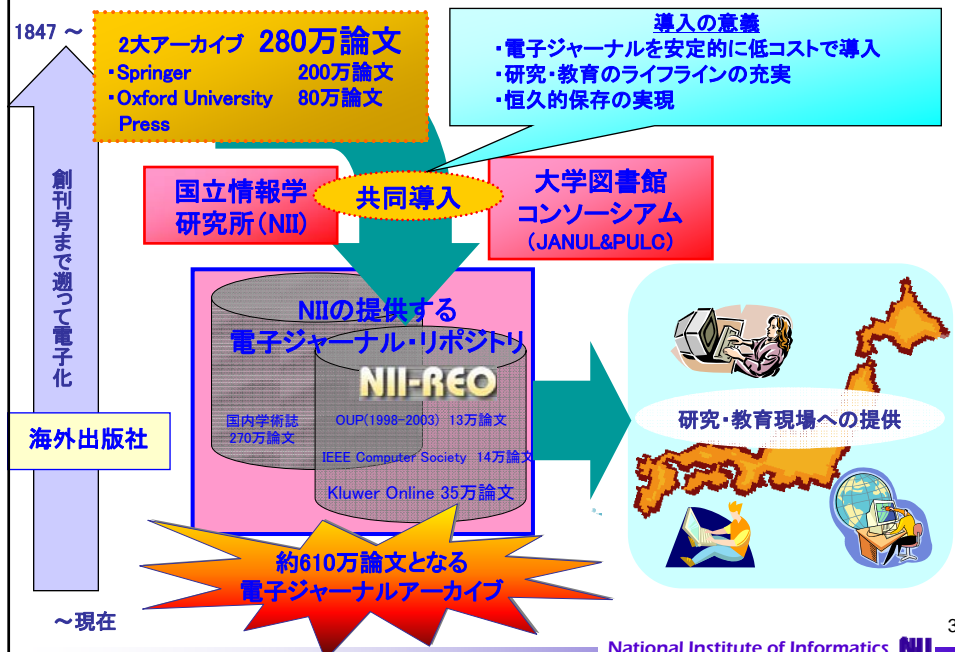
本日の報道発表のメッセージ

- 1) 電子ジャーナルはいまや学術研究・教育活動のライフライン
- 2) NIIと大学図書館コンソーシアムで、世界有数の学術出版社の2大アーカイブ280万論文を共同導入
- 3) 国内の電子ジャーナルアーカイブとあわせて、610万論文の日本最大の電子ジャーナルアーカイブの実現
- 4) 学術的価値の高い知の共有財産が、過去から現在までインターネットで切れ目なく利用
- 5) 電子ジャーナルの安定的な利用と永続的な保存の枠組みの実現
- 6) 学術研究のライフラインの充実と発展への貢献
- 7) 大学と連携して、さらに最先端学術情報基盤(サイバー・サイエンス・インフラストラクチャー:CSI)の構築・整備の推進

本日の概要

1. 電子ジャーナル・アーカイブの共同導入の意義
2. 電子ジャーナルをめぐる状況
3. 大学図書館コンソーシアム
4. 2大アーカイブの共同導入
5. 次世代学術コンテンツ基盤

1. 電子ジャーナル・アーカイブの共同導入の意義



2. 電子ジャーナルをめぐる状況

- 学術雑誌は紙から電子ジャーナルへ
 - 今や学生はインターネットで見つからない情報は存在しないと考える風潮すらある
 - 多くの電子ジャーナルは1990年代後半からしか電子化されていない
- それ以前は紙であり、図書館へ行かないと読めない
- 学術出版社の電子ジャーナルはサイトライセンス(大学単位で契約)で有料提供されることが多い
- ⇒電子ジャーナルを創刊号から安定的に利用できる環境を実現したい

主要な学術出版社

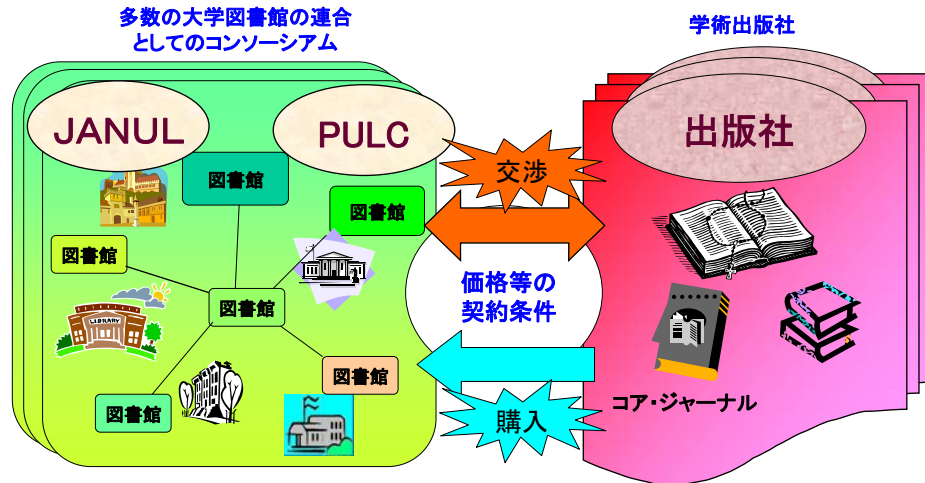
世界の主要な学術出版社と電子ジャーナル刊行数

エルゼビア(Elsevier)	1,800
シュプリンガー(Springer)	1,450
テイラー&フランシス(Taylor & Francis)	1,000
ブラックウェル・パブリッシング(Blackwell Publishing)	800
ワイリー(Wiley)	600
セイジ(Sage)	400
ケンブリッジ大学出版局(Cambridge University Press)	200
オックスフォード大学出版局(Oxford University Press)	180
米国電気電子学会(IEEE)	100
米国物理学協会(American Institute of Physics)	100
米国化学会(American Chemical Society)	35

総計:6,665タイトル

3. 大学図書館コンソーシアム

電子ジャーナルの高騰化に対抗し、大学図書館が連携し交渉する組織



日本における代表的なコンソーシアム①

・JANUL(国立大学図書館協会)

- 国立大学図書館協会会長 西郷和彦
(東京大学附属図書館長)
- 電子ジャーナルタスクフォース主査 土屋俊
(千葉大学附属図書館長)

- 2000年:電子ジャーナルタスクフォース設置
- 各図書館の契約や研究者の利用実態調査,
図書館員研修なども行う
- 国立大学図書館等92館が参加

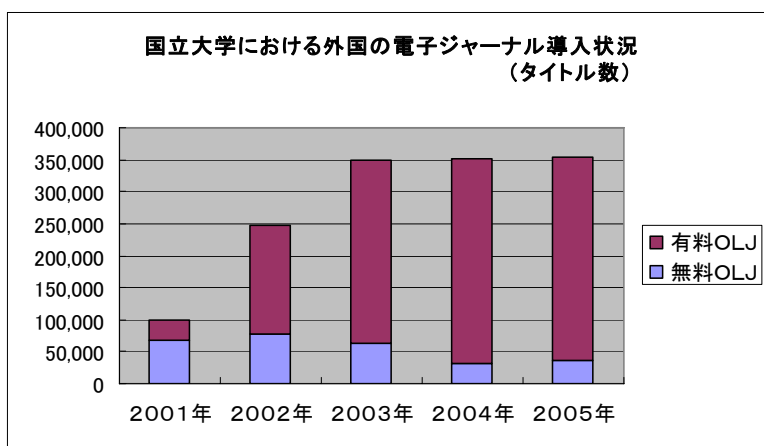
日本における代表的なコンソーシアム②

・PULC(公私立大学図書館コンソーシアム)

- 幹事校 慶應義塾大学メディアセンター所長 杉山伸也
- 幹事校 早稲田大学図書館長 紙屋敦之

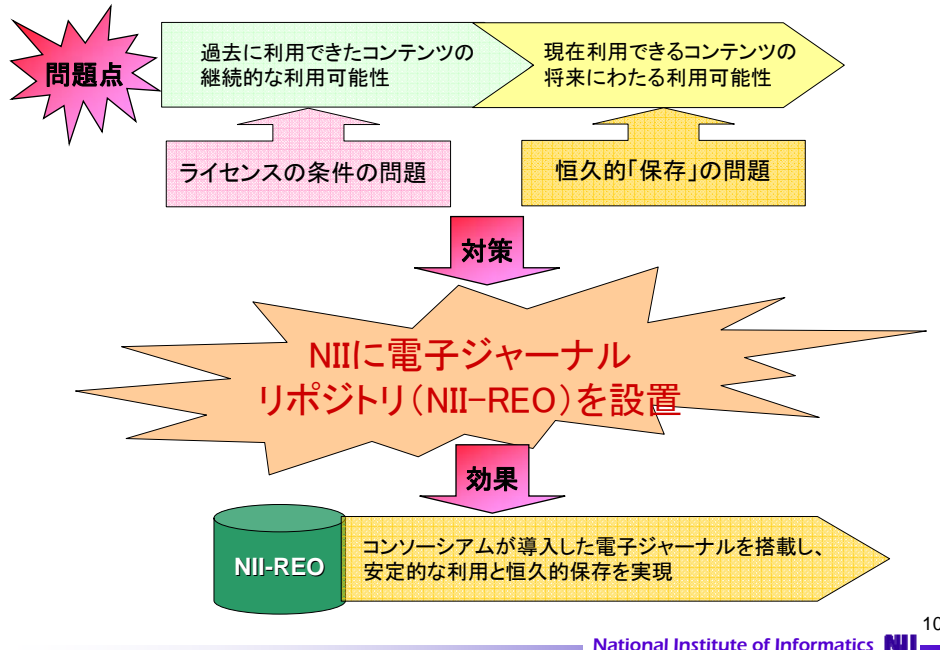
- 2003年:私立大学図書館コンソーシアム成立
- 2004年:公立大学図書館の参加
- 現在,私立大学 139校,公立大学 10校が参加

電子ジャーナルの利用環境の向上



(国立大学図書館協議会電子ジャーナル・タスクフォースの調査結果による)

電子ジャーナルの問題点と解決策



10

4. 2大アーカイブの共同導入

1847年に遡る280万論文の電子アーカイブ
を大学図書館コンソーシアムとNIIが
共同導入し、公開

『Springer Online Journal Archive』

『Oxford Full Online Collection』

JANUL(国立大学図書館協会)
PULC(公私立大学図書館コンソーシアム)
NII(国立情報学研究所)
三者の共同プロジェクト

11

**『Springer Online Journal Archive』
(Springer Science+Business Media社)**

- 1842年創立
- 約800タイトル(1847~1996)
- 約200万論文(総ページ数1,500万)
- 2006年4月に公開(JANUL・PULCの約100大学が導入)
- Lecture Notes in Computer Science もあわせて搭載
- ドイツに本拠を置くSTM(科学/工学/医学)系の学術出版社
- 雑誌で世界第二位, 書籍で首位のシェア

**『Full Online Collection』
(Oxford University Press社)**

- 137タイトル(1849~1995)
- 人文系の有力誌を多く含む
- 約80万論文(総ページ数 400万)
- 2006年6月に公開(JANUL・PULCの約50大学が導入)
- 英国オックスフォード大学内の出版局
- 500年以上の歴史を持つ世界最大の大学出版局

検索例

アルベルト・アインシュタイン

NII-REO

検索条件: 論文名(Dialog über Einwände gegen die Relativitätstheorie)すべて含む
論文検索結果: 該当件数は 1 件 です。1 件目を表示。

検索エリア 検索語

ANY

関連検索 新規検索

全選択 選択解除 選択した抄録

1. [Dialog über Einwände gegen die Relativitätstheorie](#)
Einstein A
Naturwissenschaften 6(48): [ART0005550753]: p. 697-702, November 1, 1918
Abstract... PDF(1064K)

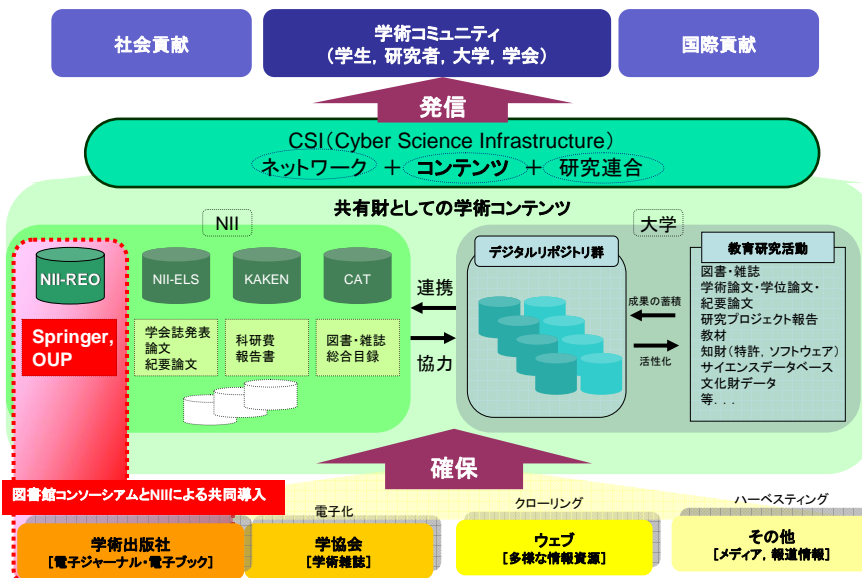
『相対性理論批判
についての対話』

DIE NATURWISSENSCHAFTEN
WOCHENSCHRIFT FÜR DIE FORTSCHRITTE DER NATURWISSENSCHAFT, DER MEDIZIN UND DER TECHNIK
HERAUSGEBEN VON
DR. ARNOLD BERLINER UND PROF. DR. AUGUST PÜTTER
Sechster Jahrgang. 29. November 1918. Heft 48.
Dialog über
Einwände gegen die Relativitätstheorie
Von Prof. Dr. A. Einstein, Berlin.
Kritikus: Schon oft haben meinesgleichen in
Zeitschriften Bedenken der verschiedensten Art
gegen die Relativitätstheorie vorgebracht; nur
wegung auf den Gang einer Uhr stets Widerspruch
hervorgerufen, und zwar -- wie mir scheint --
mit gutem Grunde. Denn dies Ergebnis scheint
notwendig zu einem Widerspruch mit den Grund-
lagen der Theorie zu führen. Damit wir uns voll-
kommen verstehen, sei dies Ergebnis der Theorie
zunächst hinreichend scharf angegeben.

14

5. 次世代学術コンテンツ基盤

(大学とNIIの密接な連携の下で学術コンテンツの形成、確保、発信を強化)



15